

はちやむ

第510号

2025. 11. 27



98きまりの精神【礎】
『自律』『尊重』『協力』

【令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果から】

「全国学力・学習状況調査」の各教科の概要と課題、改善の方向性についてお知らせいたします。全国の様子や状況は各ホームページ(文部科学省、札幌市のHP)をご覧ください。なお、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一侧面であることをご理解願います。

本校の概要

【領域】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率
○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている
- 「話すこと・聞くこと」の平均正答率
○全国平均に比べ上回っている
- 「書くこと」の平均正答率
○全国平均に比べ上回っている
- 「読むこと」の平均正答率
○全国平均に比べ上回っている

今回の調査における課題

- ▶事象や行為を表す語句について理解すること。
- ▶相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるよう表現を工夫すること。
- ▶目的に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。
- ▶表現の効果について、根拠を明確にして考えること。

改善の方向

- ▶新しく出合った言葉について調べたことを理解したり、その語句を文章の中で使ったりする活動の充実。
- ▶聞き手の反応を踏まえて話の受け止め方や理解の状況を捉え、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す活動の充実。
- ▶題材や伝えたいことが目的や相手、書く意図に合っているかを判断しながら文章を書く活動の充実。
- ▶表現の効果について、自分の考えの根拠を挙げながら自分の考えを書いたり発表したりする活動の充実。

本校の概要

【領域】

- 「数と式」の平均正答率
○全国平均に比べ上回っている
- 「図形」の平均正答率
○全国平均に比べ上回っている
- 「関数」の平均正答率
○全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている
- 「データの活用」の平均正答率
○全国平均に比べ上回っている

今回の調査における課題

- ▶式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだし、数学的な表現を用いて説明すること。
- ▶ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明すること。
- ▶事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。
- ▶不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること。

改善の方向

- ▶文字を用いた式を活用して、数量や数量の関係を表現し、処理する活動を充実させる。
- ▶ある事柄が成り立つことを数学的な表現を用いて説明し、活用する活動を充実させる。
- ▶取り出した2つの数量の関係を関数とみなし、問題を解決する活動を充実させる。
- ▶確率を用いて事象の起こりやすさの傾向を捉えて判断したり、その理由を確率を根拠として説明する活動を充実させる。

今回の調査における課題

- 「エネルギーを柱とする領域」
- ▣ 知識を活用して、実験を計画し、結果をもとに、考察をすること。
- 「粒子を柱とする領域」
- ▣ 化学変化を原子・分子のモデルで表すなど、質的・実体的な視点で捉えること。
- 「生命を柱とする領域」
- ▣ 共通性と多様性の見方を働きながら、解釈すること。
- 「地球を柱とする領域」
- ▣ 土地の様子とボーリング調査の結果を関連づけて地層の広がりを検討すること。

改善の方向

- 探究の過程を調整しながら、実験を計画するなど実態に合わせた学習活動の充実。
- 目に見えない粒子をイメージし、ICTを活用しながら、モデルを表すような学習活動の充実。
- 各単元や各領域での知識・技能を関連づけて多面的・総合的に探究する学習活動の充実。
- 過去に起きた事象を推論したり、地層の広がり方を推論したりするなど、考察したことを表現する学習活動の充実。

国語・数学の「本校の概要」における記号の意味

◎上回っている

○ほぼ同程度だがやや上回っている(+3%)

△ほぼ同程度だがやや下回っている(-3%)

●下回っている

なお、理科についてはIRT(アイテムレスポンスセオリー)というテスト理論を採用しているため、公開問題の領域に偏りがあり、概要を分析することは困難であるという理由で「本校の概要」については示しておりません。

全国平均に比べ、肯定的な回答の割合が高い質問

- ・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
- ・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(26冊以上の割合)
- ・読書は好きですか
- ・あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができますか
- ・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか
- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか
- ・理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか
- ・将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか

全国平均に比べ、肯定的な回答が少ない質問

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(ほぼ毎日の割合)

【調査結果についての分析】

教科については、今回調査を行った国語・数学・理科において、多くの領域で全国平均を上回っています。生徒質問との関連で見していくと、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか」や「学習したこと(知識)を普段の生活の中で活用できていますか」に対する肯定的な回答の割合の高さが顕著です。このことは、生徒が主体的に授業(学習)に取り組むことで、授業後に学習で得た知識や情報を実生活での活用につなげようという意欲が喚起されていることを表していると考えられます。各教科で行っている様々な授業改善の成果であると考えます。

また、新聞等の報道でも話題になっていましたが、本校においても「あなたの家にはおよそどれくらいの本がありますか」や「読書は好きですか」に対する肯定的な回答の割合は高く、読書と学力の正の相関関係がうかがえる結果となっています。普段から余裕をもって登校し、朝の読書に集中して取り組むことができていることも影響していると考えます。

生徒質問では、「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」に対する肯定的な回答の割合が昨年度と同様に高く、本校で取り組んでいる教育相談の成果であると考えます。特に、年に2回行っている担任との教育相談週間が、生徒の困りごとや不安の解消につながっており、今後も生徒に寄り添った教育相談を実施していくたいと考えています。

また、「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方へ気付いたりすることができますか」や「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」に対する肯定的な回答の割合の高さは、本校の伝統である【'98きまり】の精神に基づき推進している【D&I(みんなを認め合い みんなが過ごしやすい学校を みんなでつくろう)】の取組の成果であると考えます。きまりについての【ボトムアップ的なルールメイキング】や【'98きまり道徳】を今後も継続、発展させていきたいと思います。

タブレットなどのICT機器の使用頻度についての質問に対する肯定的な回答の割合は低いですが、「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思いますか」など活用能力に関する質問に対する肯定的な回答の割合は高くなっています。これは、本校で導入している教育用の画像デザインソフトを「総合的な学習の時間」等で効果的に活用している成果であると考えます。今後もICT機器使用の質に重点を置いた運用を推進しながら生徒の情報活用能力を育んでいきたいと思います。

今回の調査で明らかになった一面を受け止め、学校と家庭が一体となって、学ぶことの意義や大切さを伝えていくことが必要と考えております。今後ともご協力をお願ひいたします。

| 12月の主な行事予定

1日(月) 学校評価に係るアンケート配付	25日(木) 3年学年末テスト①(技家・保体)
2日(火) '98きまり「尊重」道徳	3校時終業式
4日(木) 期末(三者)懇談(~10日) 13:45 下校	通知表配付(5教科) 12:30完全下校 給食なし
9日(火) III期時間割開始	職員会議
11日(木) 3年学年末テスト①範囲発表	26日(金) 冬季休業(~1月14日)
15日(月) 図書冬休み長期貸出(~23日) 発寒中学校区あいさつ週間(~19日)	12月29日(月)~1月6日(火) の期間については学校閉鎖および 冬季休校日のため終日転送電話と なりますのであらかじめご了承ください。
24日(水) 3年学年末テスト②③範囲発表 13:45 完全下校 職員会議	